

令和3年度(一財)山形コンベンションビューロー事業報告

□ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、延期やオンライン開催への変更が多くあり、現地開催とハイブリッド開催（現地参集とオンラインを併用しての開催）を合わせた東北規模以上の開催総数は10件、現地参加者総数は911人となりました。

誘致支援活動では、オンラインで開催された誘致商談会「第31回国際MICEエキスポ・オンライン」に参加し、首都圏や海外の学会・協会本部などキーパーソンへ誘致活動を行いました。また、コロナ禍における開催形態の変化にも対応するため、支援対象コンベンションの規模や人数要件の緩和を行い、ハイブリッド開催への支援も行いました。

コンベンションに関する調査及び広報事業においては、コンベンション現地参加者に村山広域圏7市7町の特産品をプレゼントする企画を実施し、村山広域圏のPRに努めました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、新型コロナウイルス感染症対策として政府の基本的対処方針や業種別ガイドラインなどに基づいた対応を行い、利用件数は展示会、研修会等で1,589件、来場者数は約20万人となりました。

村山広域圏（7市7町）並びに関係団体の協力を得て開催しました山形ビッグウイングフェスティバルは、感染症対策を講じた上で実施し6,400人の方から来場をいただくことができました。

また、プラザは建設より27年が経過し経年劣化による故障等が増加しております。安全安心を第一に考えた修繕を行うと共に、利用者からの要望にはできるものから素早く対応するなど利便性の向上にも努めました。

コンベンションの開催総数、現地参加者総数及び山形国際交流プラザの件数、来場者数は昨年より増えており少しずつ回復の兆しが見えております。

事業別活動状況については、次のとおりです。

□ 事業別活動状況

1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏の学会・協会本部に対しては、電話や電子メール及びダイレクトメールを活用して誘致活動を行った。また、地元の主催団体には、感染症対策に留意しながら訪問した。さらに「第31回国際MICEエキスポ・オンライン (IME 2022 Online)」に参加し、コロナ禍により訪問が難しい首都圏の主催者とオンラインにて商談を行い、新規案件の情報収集及び誘致活動に努めた。

支援活動では、コロナ禍における開催形態の変化にも対応しながら、主催者のコロナ対策のための経費負担を軽減するための支援策（会場費用等支援）を令和2年度よりさらに充実させ実施した。

(1) 誘致事業

令和3年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会期	開催名称	開催場所	参加者数	うち 県外者数 (国外者数)	規模
令和4年度	6/9-10	令和4年度 全国公立文化施設協会 定時総会・研究大会 (山形大会)	やまぎん県民ホール/山形テルサ/ホテルメトロポリタン山形	500人	450人	全国
	6/16-17	一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会 第54回全国大会 in YAMAGATA 山形ステージ	ホテルメトロポリタン山形	300人	250人	全国
	7/3-4	第11回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナーin山形	山形医学交流会館	60人	45人 (10人)	国際
	8/10-11	日本健康相談活動学会 第17回夏季セミナー《ハイブリッド開催》	山形大学小白川キャンパス 及びオンライン	100人	60人	全国
	9/24-25	第4回日本白斑学会学術大会《ハイブリッド開催》	山形テルサ 及びオンライン	120人	100人	全国
	10/12-13	第47回全国視覚障害者情報提供施設大会 (山形大会)	山形テルサ	250人	230人	全国
	10/13-14	About Conference on 4D and Functional Fabrication《ハイブリッド開催》	やまぎん県民ホール 及び オンライン	100人	95人	全国
	10/23	2022年度探求型学習研究大会	東北芸術工科大学	100人	50人	全国
令和5年度	3/17-18	第17回国内観光活性化フォーラム in やまがた	やまぎん県民ホール	1,200人	1,000人	全国
	7/29-30	第49回皮膚かたち研究学会学術大会《ハイブリッド開催》	山形テルサ 及びオンライン	130人	100人	全国
	9/2-3	第59回日本眼光学学会総会	やまぎん県民ホール	400人	380人	全国

① 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を予定していた国際会議や全国大会等の延期、中止及びオンライン開催への変更の情報が寄せられた。

令和3年度開催予定であったコンベンションのうち

- ・中止及び延期となったコンベンション 25件
- ・オンライン開催となったコンベンション 25件

大規模学会でのコンベンション誘致活動及び東北地区MICE誘致商談会は中止となった。

② コンベンションキーパーソンの招請

会議名称 (公社)日本語教育学会 秋季大会

視察日 令和3年10月27日(水)・28日(木)

会場 山形テルサ

規模 全国 約500人

※令和5年度の開催決定

③ I M E 2 0 2 2 O n l i n e への参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度に引き続きオンライン開催となった。

主催 (一社)日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)
日本政府観光局(JNTO)

期日 令和4年2月16日(水)～17日(木)

出展団体 81団体

MICE主催者 150人(うち国外45人)

商談件数 17件(うち国外4件)

④ 誘致活動状況

訪問、来館打合せ及びWeb会議 8団体延べ14回

⑤ 山形コンベンション施設ガイドの制作

村山広域圏の公的施設及び賛助会員宿泊施設を掲載したガイドを制作し、誘致活動時の施設紹介に活用した。

⑥ 「Yamagata 彩 Guide MICE +」の企画・制作

山形らしいコンベンションを企画していただくため、アトラクション、ユニークベニュー、観光スポット、お土産品等の情報を集約したガイドを制作し、誘致活動に活用した。

(2) 開催支援事業

① 支援活動状況

訪問、来館打合せ及びWeb会議 49団体延べ99回

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数※1	支援団体数※2
令和3年度実績	10件	37件
令和4年度	52件	41件
令和5年度	11件	11件
令和6年度	1件	1件
計	74件	90件

※1 オンライン開催は含まない。

※2 オンライン開催等に変更となったものも含む。

② アトラクション支援

(国際規模上限額100,000円、ブロック・全国規模上限額50,000円)

[2件総額: 100,000円]

会期	開催名称	規模	内容	交付実績
11/1-2	東北フォーラム 2021in やまがた《ハイブリッド開催》	ブロック	花笠踊り	50,000円
11/26-27	第21回日本クリニカルパス学会学術集会 《ハイブリッド開催》	全国	居合抜刀術サムライショー	50,000円

③ コンベンション開催用貸切バス費用の支援

新型コロナウイルス感染症の影響により支援申請はなかった。

④ コンベンション会場費用等支援

(ブロック規模以上: 上限額300,000円)

[5件総額: 1,426,270円]

会期	開催名称	規模	開催場所	現地参加者数	交付実績
6/15	全建総連北海道東北地方協議会・山形県建設労働組合連合会合同開催「建設職人のつどい」	ブロック	ホテルメトロポリタン山形	26人	226,270円
8/26	第27回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会 令和3年度商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会《ハイブリッド開催》	ブロック	山形国際ホテル及びオンライン	66人	300,000円
10/29-30	第3回肺癌縮小手術国際会議《ハイブリッド開催》	国際	山形テルサ及びオンライン	80人	300,000円
11/1-2	東北フォーラム 2021in やまがた《ハイブリッド開催》	ブロック	山形テルサ及びオンライン	36人	300,000円
11/28-29	第10回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナーin山形 《ハイブリッド開催》	国際	山形医学交流会館及びオンライン	35人	300,000円

⑤ コンベンション開催助成金

[2件総額：2,770,000円]

会期	開催名称	規模	開催場所	現地参加者数 (交付対象)	交付実績
8/3-4	第33回(一社)日本看護学校協議会学会《ハイブリッド開催》	全国	山形テルサ 及び オンライン	90人 (35人)	825,000円
11/26-27	第21回日本クリニカルバス学会学術集会《ハイブリッド開催》	全国	山形テルサ 及び オンライン	450人 (270人)	1,945,000円

⑥ 山形空港、山形駅に歓迎看板を掲示

5件のコンベンションに対し、歓迎看板を掲示した。

⑦ 「コンGRESバッグ」「布エコバッグ」「ネームホルダー」の提供

主催者が参加者に配布する「コンGRESバッグ」、「布エコバッグ」をそれぞれ1件の主催者に有償支援した。また、参加者用「ネームホルダー」を4件の主催者に提供した。

2 コンベンションに関する調査及び広報事業

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインを活用した開催が増え、それに伴う主催者からの問い合わせに対応するため、コンベンション施設へのインターネット環境調査を実施した。また、コンベンション現地参加者を対象に村山広域圏7市7町の特産品をプレゼントする企画を実施し、村山広域圏のPRに努めた。

(1) 調査事業

① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

各種団体・施設・行政等1,025件に対し開催意向調査を実施し、延べ38件の情報を収集した。

② コンベンション施設のインターネット環境調査の実施 (新規)

91件のコンベンション施設へインターネット環境を調査し、Wi-Fiや有線LANの設置状況について25件の回答を得た。

③ 各種会議への参加

- ・令和3年度東北地区コンベンション推進協議会定例総会(オンライン開催)
期日 令和3年10月14日(木)
- ・令和3年度東北地区コンベンション推進協議会職員研修会(オンライン開催)
期日 令和3年12月22日(水)
- ・2021年度JCCBコンベンション・ビューロー部会(オンライン開催)
期日 令和4年1月13日(木)

(2) 広報事業

① 7市7町特産品提供 (新規)

コンベンション現地参加者を対象に村山広域圏7市7町の特産品プレゼント企画を実施した。また、応募時に利用施設の感想や山形の印象などについてのアンケートを実施した。

第1回目締切 令和3年10月31日、当選者数 18名

第2回目締切 令和4年3月10日、当選者数 10名

② 「山形おもてなしガイド ウマイベヤマガタ」の企画・制作及び配布

コロナ禍での支援企画として令和2年度に引き続き掲載料を無料とし、制作及び配付するとともにWebページにより紹介した。

制作部数 30,000部、掲載店 245店(令和2年度 214店)

③ 山形国際交流プラザ内観光物産展示コーナーでの特産品展示

山形国際交流プラザ内の展示コーナーで村山広域圏の観光パンフレットの設置や特産品の展示を行い、観光物産のPRを行った。

④ ホームページやSNSによる情報発信

ホームページ、ウマイベヤマガタWeb版、Facebookなどを活用した情報発信を行った。

⑤ JR山形駅東西自由通路「アピカ」のショーケース活用

ショーケースを活用し、開催予定カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなど、開催されたコンベンションの周知を行った。

⑥ 機関紙「ルネッサンス」の発行及び配布

年2回(7月、1月)発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。

⑦ 山形大学広報誌「みどり樹」への広告掲載

年2回(秋号、春号)発行の山形大学広報誌「みどり樹」へ広告を掲載し、山形大学の全教職員等にビューロー活動の周知を行った。

⑧ マスコミ等を活用した広報

- ・新聞への広告掲載 3回
- ・山形空港での電飾看板の掲示

3 山形国際交流プラザの管理運営事業

(1) 令和3年度の利用状況など

昨年度と比較すると増加はしたものの、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症による影響は収まる事はなかった。令和4年度の催事についても取消が発生している状況である。

① 利用件数 (単位：件)

	令和3年度 *		令和2年度 *		令和元年度
展示棟	75	56.8%	66	50.0%	132
会議棟	1,471	71.1%	1,201	58.0%	2,068
その他	43	75.4%	32	56.1%	57
合計	1,589	70.4%	1,299	57.5%	2,257

* 割合は令和元年度対比

② 来場者数 (単位：人)

	令和3年度 *		令和2年度 *		令和元年度
来場者数	196,620	47.5%	118,266	28.6%	413,325

* 割合は令和元年度対比

開館以降来場者数累計 17,231,872人

③ 施設利用料 (単位：円) * 割合は令和元年度対比

	令和3年度 *		令和2年度 *		令和元年度
利用料	152,509,770	87.8%	68,308,605	39.3%	173,633,106

④ 新型コロナウイルス感染症の影響及び対策

新型コロナウイルス感染症については、制限緩和などもあり昨年度と比較すると利用は増加したが、山形市が「まん延防止等重点措置」の適用区域に指定された時期などもあったことから、収束の見通しは立たず利用件数や施設利用料等に大きく影響をもたらした。令和3年度利用分の取消については、件数が394件、利用料の損失確定額は約58,100千円となった。

○主な感染防止対策について

- ・ 共用部、会議室設備のアルコール消毒液などによる清掃の実施
- ・ 来館者向け施設利用協力依頼のサインを正面出入口に設置
- ・ 体表面温度計を1階ロビーに設置
- ・ 飛沫感染防止用アクリルクリアパネルを会議室及び事務所へ設置
- ・ アルコール噴霧スタンドを1階出入口に設置
- ・ ロビーに設置している長椅子に隣接を避けるよう表示
- ・ 二酸化炭素測定装置を会議室内に設置

(2) 安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。

また、不測の事態に備え山形県警察本部の方を講師にテロ対策講座を受講した。

(3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

利用者から要望があった二酸化炭素測定装置の設置やサーマルカメラを増設するなど利便性の向上に努めた。また、施設や設備等に不具合が生じた場合は適切な補修を行い、利用者へ支障がないよう配慮すると共に、施設内照明の段階的なLED化の推進や不要な古紙のリサイクル化など環境に配慮した管理運営を行った。

① 改修計画の更新

平成30年度に実施した建物老朽化診断調査結果を基に、大規模な改修等については、山形市へ提案するなど情報を共有した。

② 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺い改善できるものについては速やかに対応しているが、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者を集める形態ではなく事前に意見・要望等を伺い書面で回答した。

③ モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。

それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

〈主催者対象〉

調査期間 令和3年10月1日～31日

配布枚数 121枚（回収率：64.5%）

④ 全国展示場連絡協議会等への参加

例年、全国54施設で構成されている全国展示場連絡協議会の会議に出席し、他施設との情報交換を行い連携の強化を図っているが、新型コロナウイルスの影響により一部オンライン開催となった。

(4) 自主事業の実施

① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して行った

もので、8回目の開催となった。「食」をテーマとした「村山広域まるごとマルシェ」を開催し、共催事業として、山形市伝統的工芸品まつり、みちのくこけしまつりを開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、定期的な換気、会場内の通路及び整列時の通路幅の確保等を行い、来場者には、検温の実施、マスクの着用、手指の消毒、名簿の提出等をお願いした。

期 日 令和3年11月27日（土）・28日（日）

場 所 山形国際交流プラザ 展示場1234

来場者数 6,400人

② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、山形建具等の製品を展示した。

④ 子どもの映画教室の開催

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの利用促進並びにPRを目的とし認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。小学生を対象に古いアニメーションの映画鑑賞やワークショップで簡単な玩具を製作した。

期 日 令和4年3月12日（土）

場 所 山形国際交流プラザ 試写室他

参加者数 9人

（5）利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を例年訪問しているが、新型コロナウイルスの影響により活動を自粛した。県内外の企業等にダイレクトメールを発送しプラザのPRに努めた。

4 総務

（1）理事会・評議員会等

① 監事監査

開催日 令和3年4月26日（月）

開催場所 山形国際交流プラザ
監査内容 令和2年度事業報告等、令和2年度計算書類等、令和2年度公益目的支出計画実施報告

② 第1回通常理事会

開催日 令和3年5月19日（水）
開催場所 ホテルメトロポリタン山形
決議事項 令和2年度事業報告及び同附属明細書の件、令和2年度計算書類及び同附属明細書の件、令和2年度公益目的支出計画実施報告の件、評議員会の日時及び場所の件、評議員会の目的事項の件
報告事項 令和3年度業務執行状況の件

③ 定時評議員会

開催日 令和3年6月8日（火）
開催場所 山形グランドホテル
決議事項 評議員の選任の件、理事の選任の件、監事の選任の件、令和2年度計算書類の件
報告事項 令和2年度事業報告の件、令和2年度公益目的支出計画実施報告の件

④ 第2回通常理事会

開催日 令和4年3月22日（火）
報告事項 令和3年度第1回理事会以降の事業執行状況の件、給与規程の一部改正の件
決議事項 令和4年度事業計画の件、令和4年度収支予算の件、就業規則の一部改正の件

(2) 人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、オンラインセミナー等に参加し職員の能力開発を図った。

① (一社) 山形県経営者協会主催労務管理セミナー

期 日 令和3年6月1日（火）
場 所 山形グランドホテル

② JNTO主催MICEセミナー初級（オンライン）

期 日 令和3年6月11日（金）

③ 公益・一般法人夏期特別講習会（オンライン）

期 日 令和3年7月16日（金）

④ 2021年度下期JCCB人材育成研修会（オンライン）

期 日 令和4年2月1日（火）

⑤ 2021年度MICEセミナー（オンライン）

期 日 令和4年3月11日（金）

（3）自衛消防総合訓練の実施（年2回）

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体となって実施した。

期 日 1回目 令和3年8月2日（月）

2回目 令和3年12月8日（水）

（4）一般社団法人山形市観光協会との組織統合に向けた準備

組織統合については、令和6年4月1日の統合に向け準備を進めていく。

（5）賛助会員加入促進事業

山形ビッグウイングフェスティバルでのPRや、山形商工会議所機関紙「商工月報」へ会員募集広告の掲載を行った。

（6）主な関係団体との連携

山形市観光協会・DMO さくらんぼ山形・山形商工会議所・山形県経営者協会・山形市中小企業連盟・山形流通団地・山形県観光物産協会・やまがた広域観光協議会・山形県テロ対策パートナーシップ推進会議